

基本目標

4



誰もが健やかに生き生きと くらせるまちにします

- 住民一人ひとりが健康づくりに取り組み、心身の豊かさが実感できるよう、年齢、性別、障害の有無を問わず、適切な社会保障と充実したサービスを受けられるまちをめざします。さらに高齢者が元気で積極的に社会参加をしている活気のあるまちをめざします。
- 生涯学び活躍できる環境と、スポーツ・文化を通じた豊かな生活が実感できるまちをめざします。



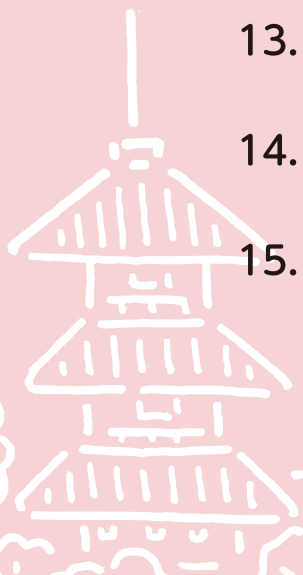
11. 健康づくり

12. 高齢者の福祉・介護の充実

13. 障害者福祉の充実

14. 安定した社会保障制度の運営

15. 生涯学習・生涯スポーツの推進



■ 課 題

- 健康寿命を伸ばし、生涯にわたっていきいきとくらすためには、住民一人ひとりの心身の健康状態が良好であることが不可欠です。
- 健康維持・増進には生活習慣病に対して、若い世代から健康づくりに取り組む意識を高めることが重要です。
- ストレス社会といわれる現代、こころの病気は誰にでも起こりうる可能性があることから、メンタルヘルスの正しい知識の普及と相談機関の周知をはかる必要があります。
- 住民のニーズの多様化、子どもの健やかな成長、高齢化の進行等に対応できる地域医療の充実が求められています。

■ 目標とする姿

住民一人ひとりが自らの健康を大切に、ライフステージに応じた健康づくりに取り組んでいます。また一方で、必要なときには身近で良質な医療を受けることができる医療連携体制が整っています。

■ 施策体系

1	健康づくり活動の推進
2	保健・福祉・医療の連携と充実

■ 政策指標

健康づくりの取組みについて満足していると思う住民の割合

実績値 (H30)	69.8%	▶	目標値 (R7)	向上
-----------	-------	---	----------	----

■主な取り組み

1 健康づくり活動の推進

- ①住民の健康寿命の延伸をはかるため、食生活、運動習慣やストレス対策など、生活習慣病予防に重点をおいた健康づくりを推進し、住民の意識啓発に努めます。
- ②各種ボランティア団体等と連携しながら、住民の自発的な取り組みや地域ぐるみでの健康づくりの活動を支援することにより、住民のニーズに合った魅力ある活動を育てます。
- ③疾病予防・早期発見にむけて、健康診査*や各種検診の充実をはかるとともに、受診機会の充実など検診を受けやすい体制づくりや周知方法の工夫などを各種ボランティアと協働して行い、受診率の向上をめざします。
- ④心の健康づくりについては、メンタルヘルスに関する知識の普及に努め、「斑鳩町自殺対策計画」を推進するとともに、専門家による相談や講習会の開催などに取り組みます。

2 保健・福祉・医療の連携と充実

- ①健康管理や健康増進がより有効に行えるよう、乳幼児から高齢者までの一貫した健康管理システムを整備します。
- ②保健師や看護師、助産師、健康運動指導士、歯科衛生士、管理栄養士など、保健・医療に携わる専門的な人材の確保や質の向上をはかります。
- ③地域全体が感染症の拡大防止や健康づくりに対する意識を高められるよう、正しい知識や情報を提供するとともに、保健センターサポーター、運動普及ボランティア、食育推進員、母子保健推進員など、各種ボランティアや関係機関と協働した保健活動に取り組みます。
- ④高齢者や障害者などの健康づくりや在宅看護・介護、さらに予防から治療、リハビリまで総合的な対応ができるよう、保健・福祉・医療の連携を強化します。
- ⑤医療体制については、町内医療機関の発展や促進に努めるとともに、休日応急診療体制や高次医療体制の充実をはかるため、県や近隣市町との連携を強め、医療サービスの向上に努めます。

高齢者の福祉・介護の充実



■課題

- 75歳以上の高齢者や単身高齢者世帯、高齢者のみの世帯が増加する中、介護予防や健康づくり、生きがいづくり、生活支援など、自立と社会参加を促す福祉サービスのさらなる充実が求められています。
- 高齢化が進む中、認知症高齢者も増加していることから、認知症の早期発見・早期受診や治療、認知症ケアの充実、認知症に対する理解の促進にむけた施策を充実する必要があります。
- 誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、医療や介護の連携を強化するとともに、地域で支え合う意識の醸成を高め、特に、高齢者が互いに支え合うしくみづくりが必要です。

■目標とする姿

高齢になっても住み慣れた地域で、健康で生きがいを持って自立した日常生活を営んでいます。
また、地域の中で支え合い、医療や介護の支援が包括的に確保できる体制が整って、在宅医療と介護の連携が充実しています。

■施策体系

1	高齢者の生きがいづくりの推進
2	地域包括ケアシステム*の構築

■政策指標

高齢者の自立した生活への支援や介護福祉サービスについて満足していると思う住民の割合

実績値 (H30)	63.6%	▶	目標値 (R7)	70.0%
-----------	-------	---	----------	-------

■主な取組み

1 高齢者の生きがいつくりの推進

- ①高齢者の豊富な知識と経験を貴重な財産としてとらえ、シルバー人材センターをはじめとした働く機会や活動の場の提供に努め、高齢者の雇用を促進します。
- ②高齢者が自立し、充実した生活がおくれるよう、趣味・学習の講座やサークル活動の場として、老人憩の家や公民館を活用するとともに、各地域へ講師を派遣するなど、高齢者の生きがいつくりに努めます。
- ③生き生きプラザ斑鳩を保健・福祉の中心施設として活用し、高齢者の健康増進、介護予防の支援などに努めます。

2 地域包括ケアシステム*の構築

- ①高齢者の介護予防、健康づくり、生きがいつくり、ひとり暮らしの高齢者の生活支援などを通して、自立と社会参加を促す福祉サービスの体制を充実し、総合的なサービス水準の向上をはかります。
- ②認知症に関する理解を深めるための普及啓発や早期発見・早期治療・重度化遅延にむけた取り組みをすすめます。
- ③誰もが住み慣れた地域でくらし続けることができるよう、地域住民による相互扶助、助け合い等の意識づくりや地域ぐるみの福祉活動を促進します。
- ④高齢者が互いに支え合えるしくみづくりにむけ、老人クラブ連合会、民生委員、小地域福祉会など、連携の強化に努め、地域福祉活動の充実をはかります。
- ⑤地域における包括的な支援・サービス供給体制として、広域連携による医療・介護の連携強化をはじめ、地域包括ケアシステム*の構築をさらにすすめます。
- ⑥社会福祉協議会と連携し、住民のボランティア意識の高揚をはかり、ボランティア情報の収集・提供、組織化の支援、活動の場の提供など、より活動しやすい環境づくりをすすめます。
- ⑦高齢者の総合的な窓口である地域包括支援センターにおいて、日常生活でさまざまな問題を抱える高齢者を支え、介護に関する相談や心配ごとなどに応じ、高齢者をあらゆる角度から支援します。
- ⑧介護保険事業の推進をはかるため、介護保険事業にかかわるサービス基盤の整備や、人材の確保を行い、住民の要望に応えられる体制づくりに努めます。

障害者福祉の充実



課題

- 障害者が必要とする支援や社会参加へのニーズは多様化しており、特性や能力に応じた就労の機会や場を確保し、自立と社会参加にむけた取組みをすすめるとともに、住民一人ひとりの障害に対する理解と適切な配慮が求められています。
- 核家族化や介護する家族の高齢化等による家族介護の力の低下や、親亡き後の問題に対し、障害者の福祉、医療、教育、雇用に関わる関係者や関係機関と相互に連携し、地域が一体となって支える体制の整備にむけた取組みをすすめていく必要があります。
- 発達上の課題を抱える子どもの相談および支援のため、行政、専門家、教育機関などが情報や対応が途切れることなく、乳幼児期から子どもの発達に関して一貫して対応していくことが必要です。

目標とする姿

障害の有無にかかわらず健常者と同様の生活と活動（ノーマライゼーション*）を行い、社会から孤立や排除されずに、それぞれの存在と役割を有する（ソーシャルインクルージョン*）の中で、誰もが身近な地域で心豊かにくらしています。

施策体系

1	地域共生社会*の実現にむけた取組みの推進
2	障害福祉サービスの充実
3	障害のある子どもへの支援の充実

政策指標

障害者に対する支援について満足していると思う住民の割合



■ 主な取組み

1 地域共生社会*の実現にむけた取組みの推進

- ① 障害者が生活にゆとりとふれあい、生きがいを感じられるよう、就労や地域活動、レクリエーションなどあらゆる場面に参加できる社会をめざします。
- ② 合理的配慮*の普及・啓発に努め、障害を理由とする差別の解消にむけた取組みをすすめます。
- ③ 障害者が働き、自立できるように、相談機能の強化をはかるとともに、あらゆる機会を通じて、就労機会の拡充や新たな業務の開拓をすすめます。また、既存の地域活動支援センターの運営支援や活動の充実をはかります。
- ④ 障害者の高齢化や親亡き後の課題に対応するため、成年後見制度*の周知をはじめ、権利擁護に関して身近に相談ができる体制の充実をはかります。

2 障害福祉サービスの充実

- ① 障害があっても社会的に自立した生活がおくれるよう、サービスの質の向上に努めるなど支援体制を充実します。
- ② 障害者が住み慣れた地域で安心してくらするよう、広域連携による地域生活支援拠点機能の整備をすすめます。
- ③ 地域住民と保健・福祉などのさまざまなサービス事業者や相談支援事業所との連携により、地域ケア体制づくりをすすめます。

3 障害のある子どもへの支援の充実

- ① 幼児期の集団での遊びを通して、身体の発達、知的活動、社会生活などの調和的な発達をはかるため、療育教室を開催します。
- ② 児童の健やかな発達を促すため、子どもの行動理論や具体的な対応の仕方を学ぶペアレントトレーニングを実施します。
- ③ 発達に遅れや偏りのある子どもへの相談支援を強化し、子どもの発達に応じた障害児福祉サービスの提供を行います。

安定した社会保障制度の運営



■ 課 題

- 人口減少にともなう被保険者数の減少などにより、国民健康保険税収が減少する一方、高齢化等による一人あたりの医療費の増加が見込まれることから、国民健康保険制度の安定的な運営が求められています。
- 医療保険等の社会保障制度については、住民が制度を理解できるよう周知に努める必要があります。
- 生活困窮者に対しては、関係機関と連携し、その状況に応じた包括的・早期的な支援が求められています。
- 社会構造の変化等により、従来の福祉のあり方だけでは必要な支援が行き届かない、いわゆる「制度の狭間」にある課題解決に向けた取組みが求められています。

■ 目標とする姿

健全財政の下、安定的な社会保障制度が運営され、必要とする人が安心して支援を受けることができる制度が構築されています。

■ 施策体系

1	国民健康保険の運営
2	福祉医療の充実
3	国民年金制度の普及促進
4	生活困窮世帯への支援の充実
5	互いに支え合えるネットワークの構築

■ 政策指標

社会保障制度の運営について満足していると思う住民の割合



■主な取り組み

1 国民健康保険の運営

- ①財政運営の責任主体である県との連携を強化し、医療費の適正化に取り組みます。
- ②国民健康保険税の収納率の向上に努め、制度の適正な運営をはかります。
- ③被保険者の健康づくりや健康管理に対する意識の啓発をすすめるとともに、疾病予防にむけた施策を充実します。
- ④国の医療保険制度の改正については、県その他関係機関と連携しながら、適正に対応します。

2 福祉医療の充実

- ①医療費の経済的な負担を軽減し、住民の健康の保持と福祉の増進をはかるため、高齢者、乳幼児、児童・生徒、障害者・児、ひとり親家庭などに対する医療費助成の充実に努めます。
- ②医療制度などの関心を高めるため、制度の概要やしくみの周知をはかります。

3 国民年金制度の普及促進

- ①国民年金制度の充実と安定化を国に要請するとともに、制度に対する理解を求めるための啓発活動や相談事業の充実をはかります。

4 生活困窮世帯への支援の充実

- ①生活困窮世帯に対する相談を実施し、就学援助や就労あっせんなど自立支援にむけた取り組みを充実します。
- ②必要な世帯には、速やかに生活保護の適用をはかるとともに、有効に活用できるよう制度の充実を関係機関に働きかけます。

5 互いに支え合えるネットワークの構築

- ①ひきこもりや孤独死、ごみ屋敷など、制度の狭間にある地域の課題解決にむけて、社会福祉協議会をはじめ、地域のボランティア、福祉関係団体等との連携を強化します。
- ②さまざまな福祉ニーズに対応するため、民生児童委員や社会福祉協議会等と協働し、身近な場所での相談支援体制を構築します。

■課 題

- ライフスタイルが多様化する中、住民の生涯学習に対する意欲は高まっており、そのニーズも広範囲かつ多岐にわたっています。また、自己実現のみならず、学習の成果を適切に生かすことが求められています。
- 図書館は、身近に本と親しめる場であり、今後もICT*を活用した多様な図書館サービスの提供、公民連携（官民連携）*やボランティアとの協働の推進が求められています。
- スポーツは、心身の発達や健康増進、豊かな人間性の育成や交流促進に欠かせないものであり、競技スポーツのみならず、住民の健康増進と心豊かなくらしのために、生涯にわたりスポーツを楽しめる環境づくりが必要です。

■目標とする姿

住民が主体的にあらゆる機会を通して学び、その学んだ成果を地域づくりに生かし地域の担い手となる人材が育成されるなど、それぞれの地域で生涯学習が活発に行われています。

子どもから高齢者まで、生涯を通じて住民がスポーツに親しみ、心身とも健康で豊かに生き生きとスポーツを楽しんでいます。

■施策体系

1	生涯にわたって学べる環境づくり
2	生涯スポーツの推進

■政策指標

生涯学習や生涯スポーツの取組みについて満足していると思う住民の割合

実績値（H30）	65.7%	▶	目標値（R7）	70.0%
----------	-------	---	---------	-------

■主な取組み

1 生涯にわたって学べる環境づくり

- ①多様化する住民の学習ニーズに対応し、年齢や障害の有無などに関わらず、誰もが気軽に参加でき、生きがいづくりにつながるよう、学習機会の拡充と内容の充実をはかります。
- ②斑鳩の歴史と文化を生かしたプログラムの開発や、グローバル化や情報化などの時代背景に対応した学習内容の充実をはかります。
- ③住民が生涯学習の成果を積極的に社会貢献やまちづくりに生かすしくみづくりや、身近な生涯学習の場である町立図書館、中央・東・西公民館が利用者にとって、快適・魅力的な施設であり続けるよう、設備や機能の充実をはかります。
- ④子どもから高齢者、障害者など誰もが気軽に図書館を利用し本に親しめるよう、電子書籍や大活字本の導入などを含めた時代のニーズに合った蔵書の充実をはかるとともに、国・県・市町村の図書館などとのネットワーク化をはかり、図書館機能の充実に取り組みます。

2 生涯スポーツの推進

- ①誰もが楽しみながら体力づくりや健康づくりができるよう、スポーツ教室の充実やクラブの育成に努めます。
- ②マラソン大会をはじめ、スポーツ、レクリエーションを通じた交流活動をすすめます。
- ③元気クラブいかるがとの連携によるスポーツ人材バンクの充実をはかり、スポーツ人口の拡充、次世代の指導者やリーダーとなる人材の発掘・養成などをすすめます。
- ④体育館やグラウンドなどのスポーツ施設を身近なスポーツ拠点として活用できるよう、設備の充実をはかります。

